

図9 虐待防止法の定義に沿わない場合の性虐待以外の虐待

2 施設の取り組み

(1) 子どもの安全・安心を守るための取り組みや配慮

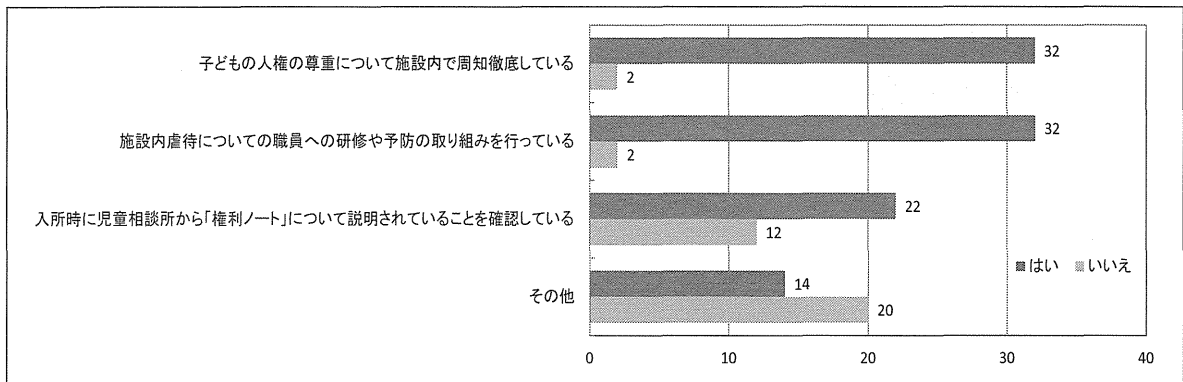


図10 子どもの権利を守る取り組みについて

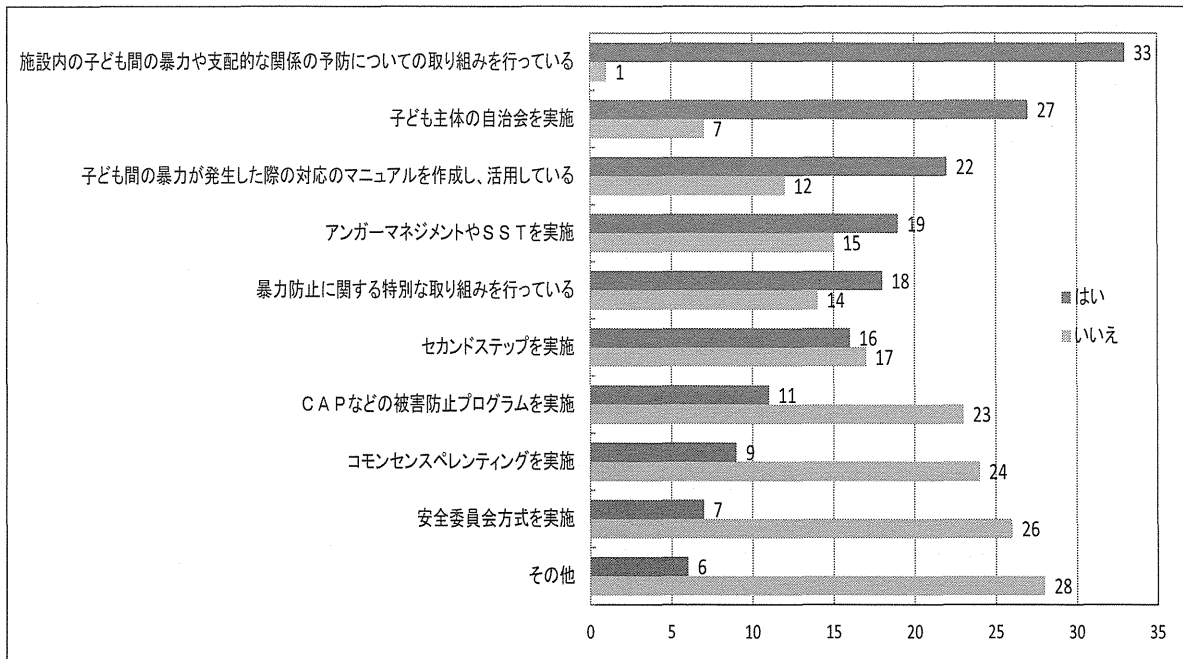


図11 子どもの安全・安心を守る取り組みについて

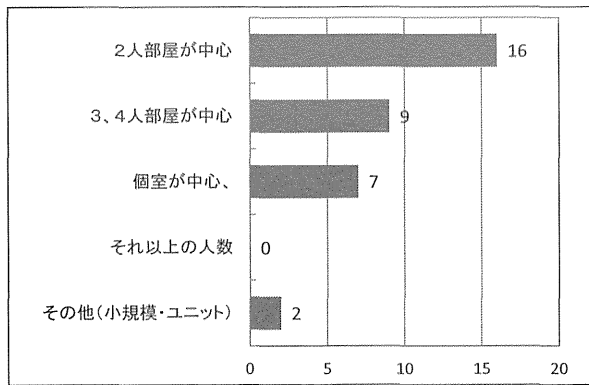


図12 居室の構造

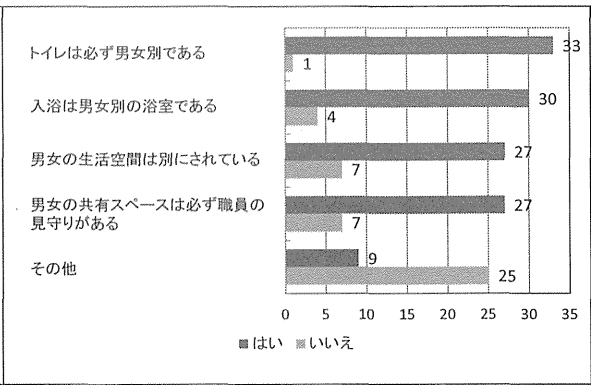


図13 その他の建物構造

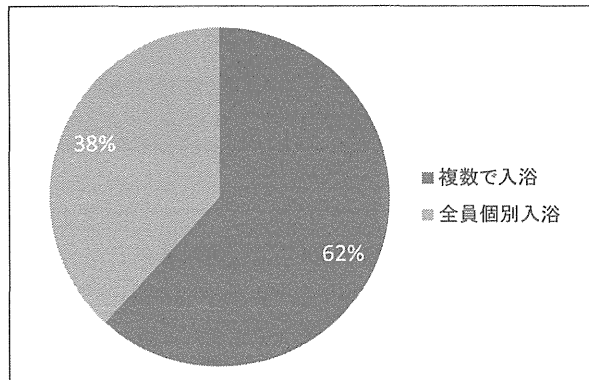


図14 入浴の人数

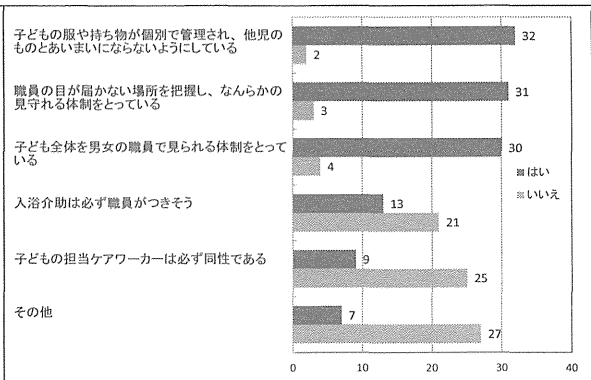


図15 児童の見守り体勢

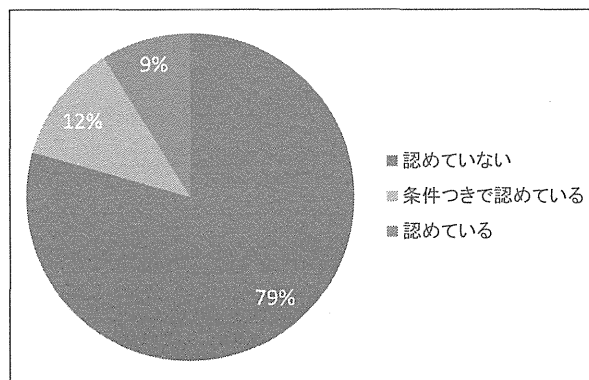


図16 子ども同士の居室の出入り

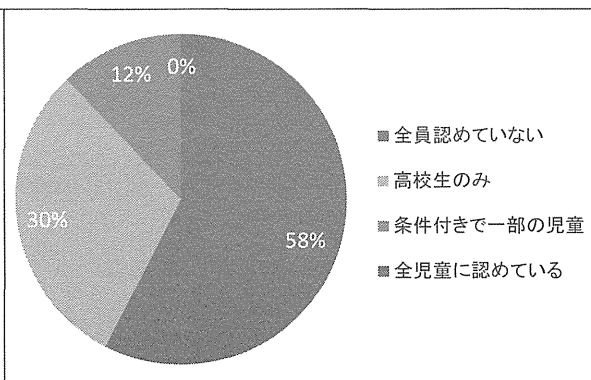


図17 携帯電話(スマホ)の所持

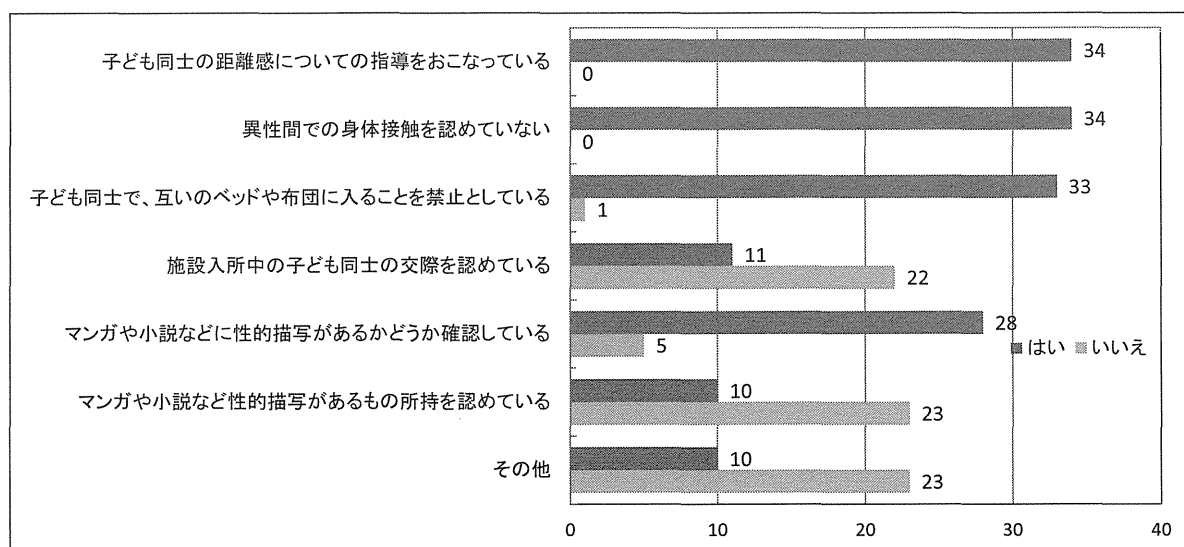


図18 生活での支援

(2) 子どもの治療についての基本的な取り組み

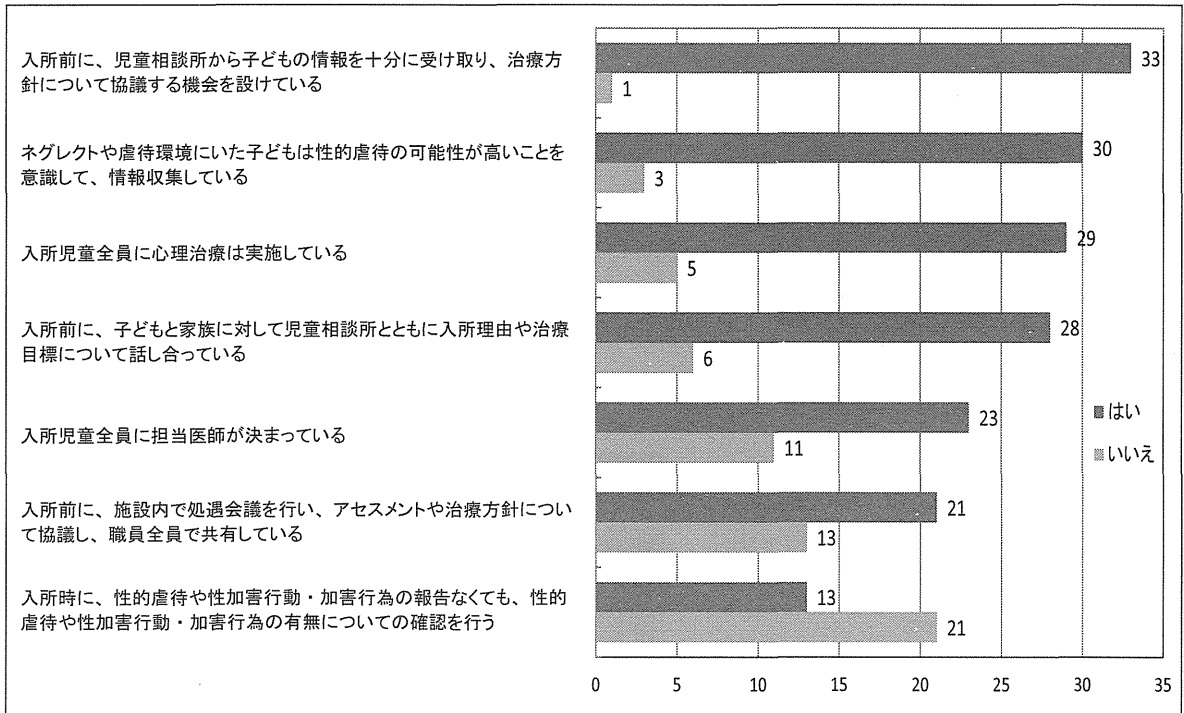


図19 子どもの治療についての基本的な取り組み

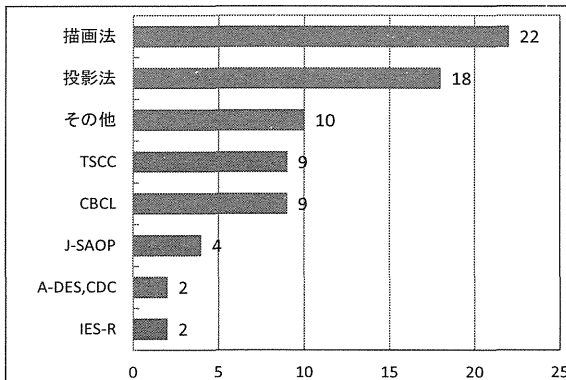


図20 実施アセスメントツール

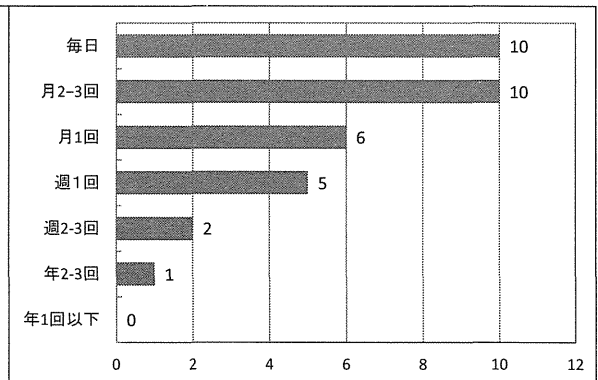


図21 ケース会議などの頻度

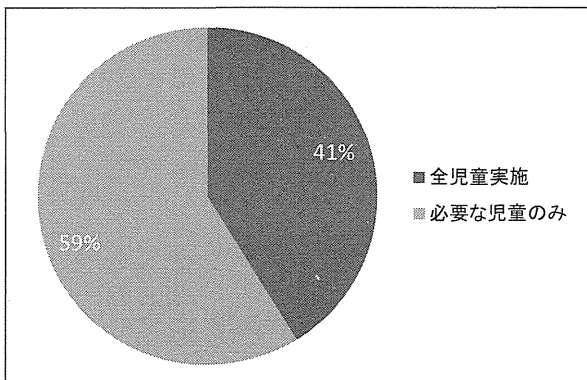


図22 担当医師の診察

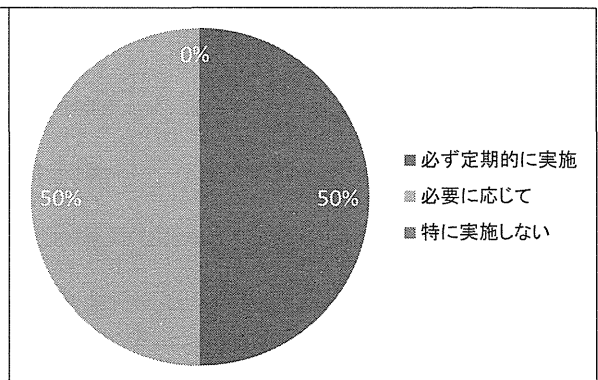


図23 児童相談所とのカンファレンス・連絡会の実施

(3) 性に関する支援

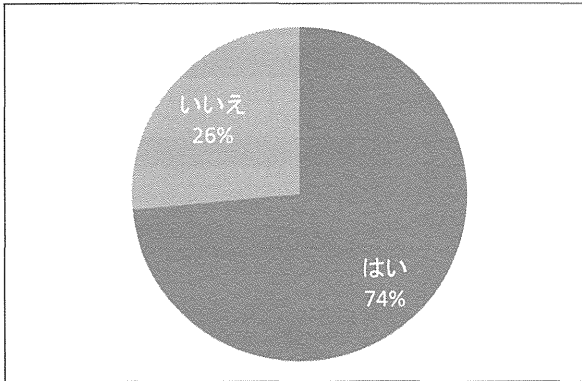


図24 性に関する係や担当を設けている

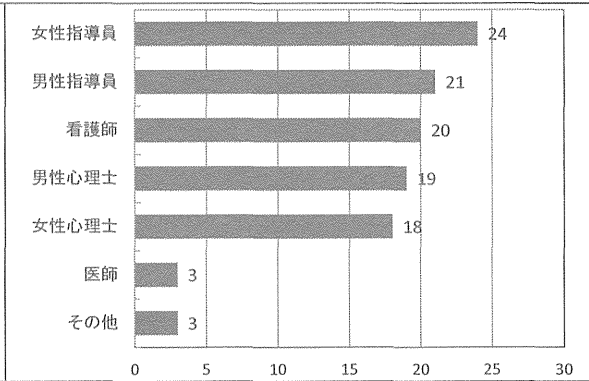


図25 性に関する係や担当の構成員

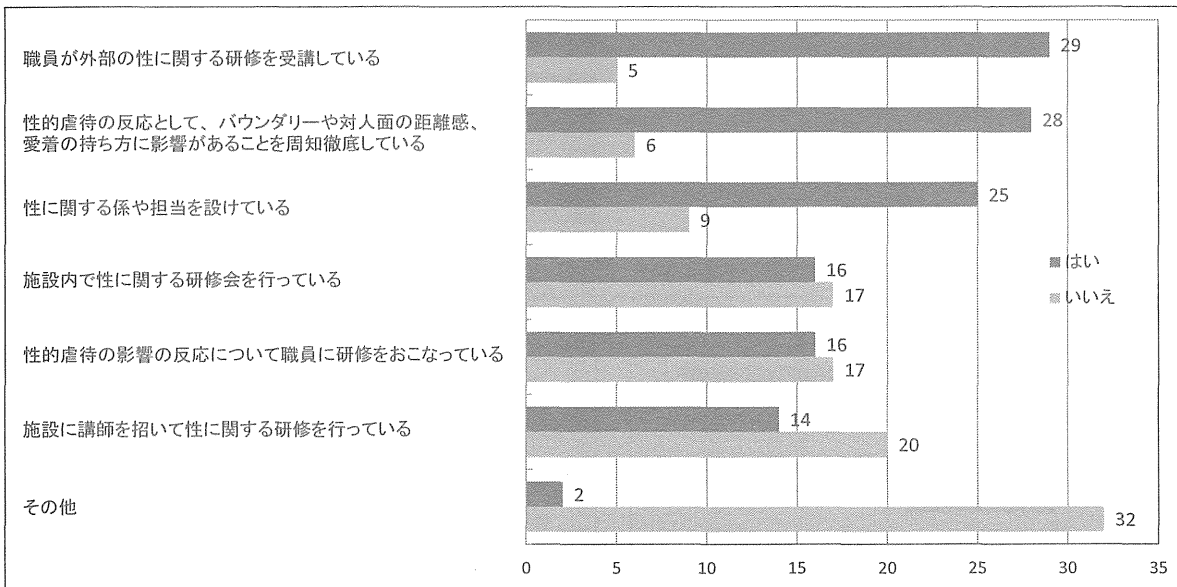


図26 生活場面での性に関する支援

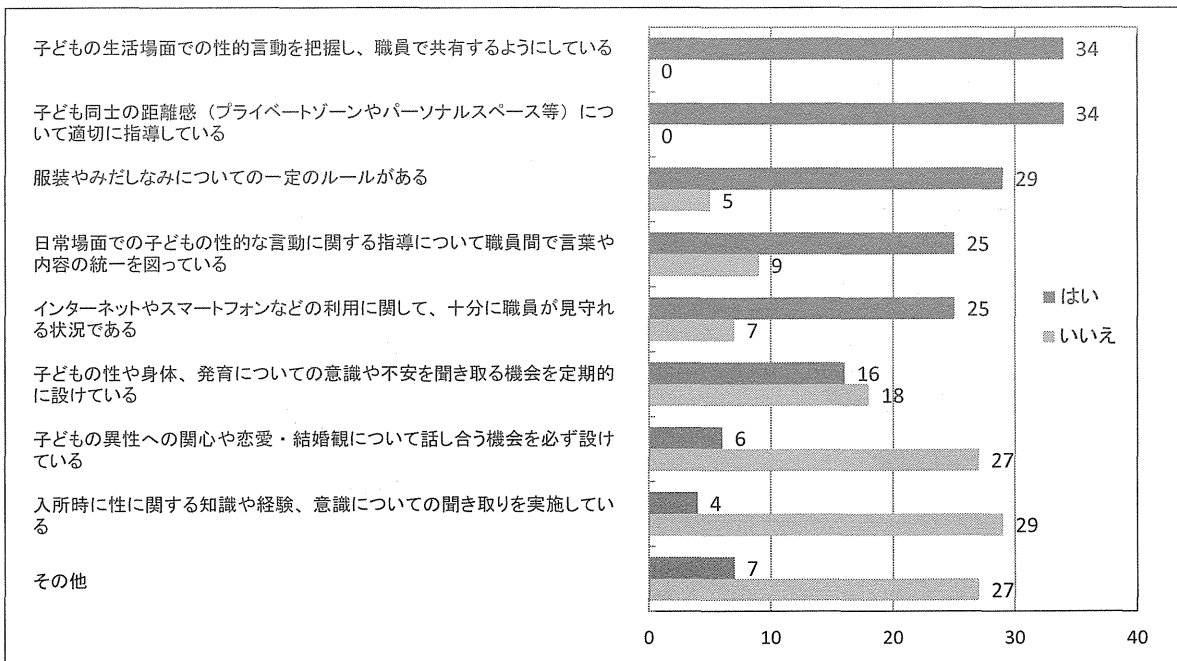


図27 生活場面での性に関する支援

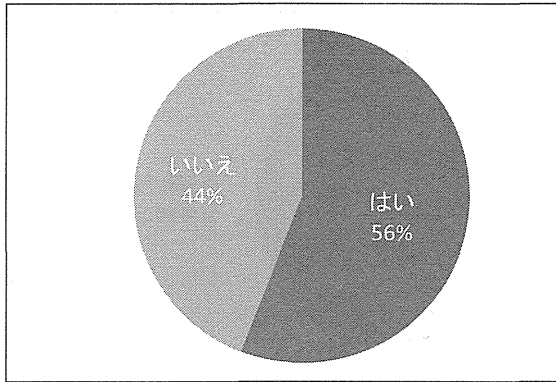


図28 学習会形式の性教育を実施しているか

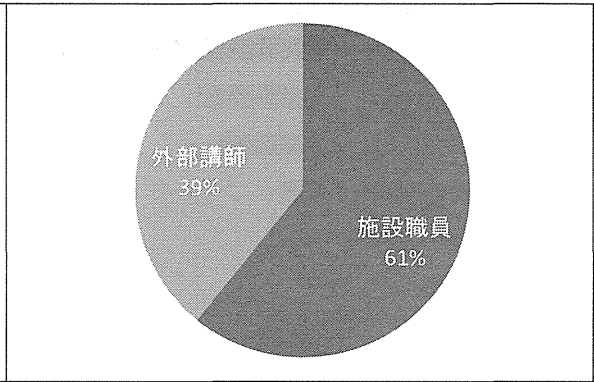


図29 学習会形式の性教育の講師

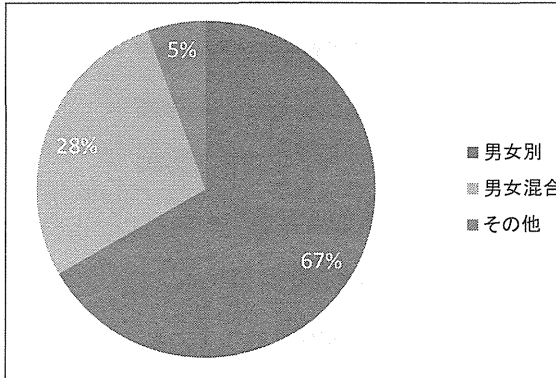


図30 学習会形式の性教育の男女別編成

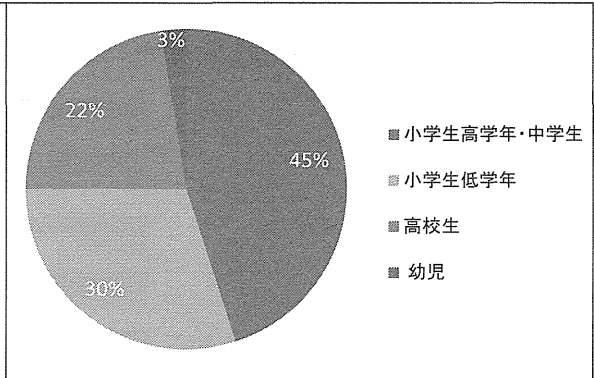


図31 学習会形式の性教育の実施年齢区分

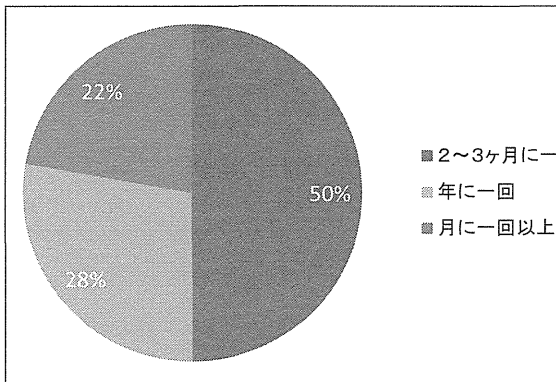


図32 学習会形式の性教育の頻度回数

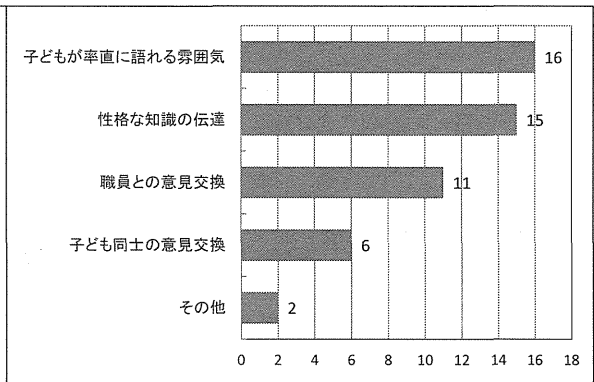


図33 学習会形式の性教育で大切にしていること

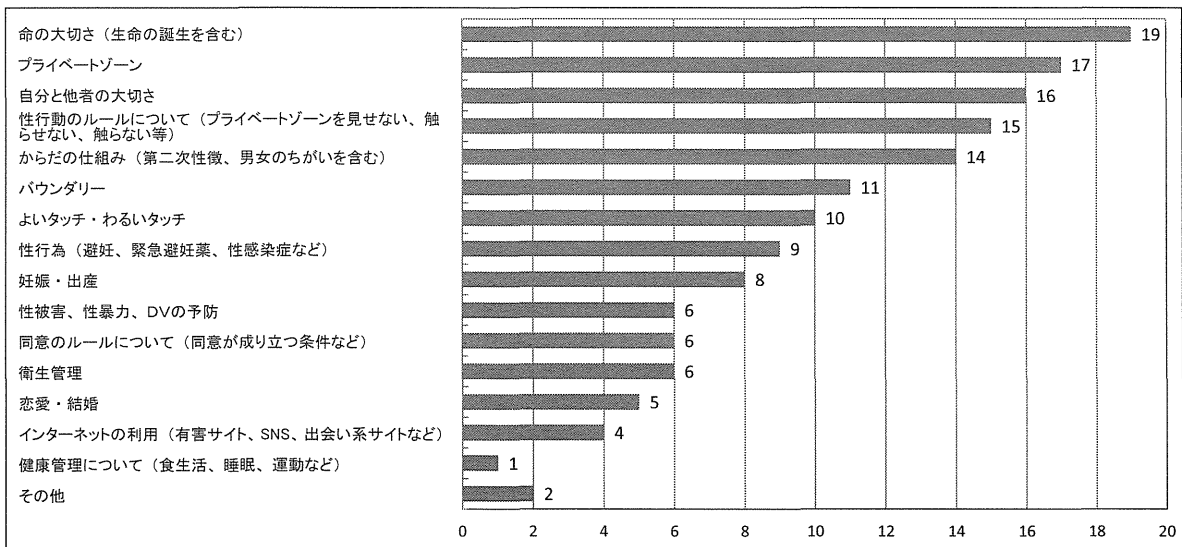


図34 学習会形式の性教育で取り扱っている内容

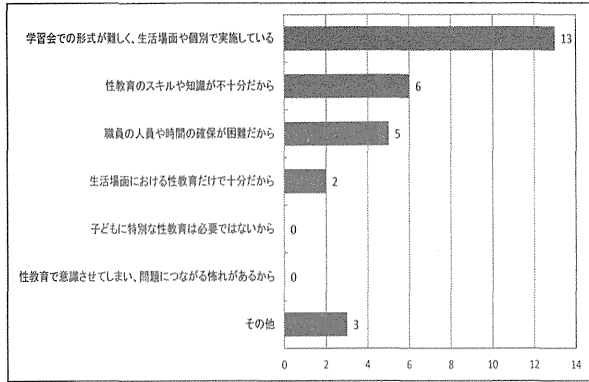


図35 未実施の理由

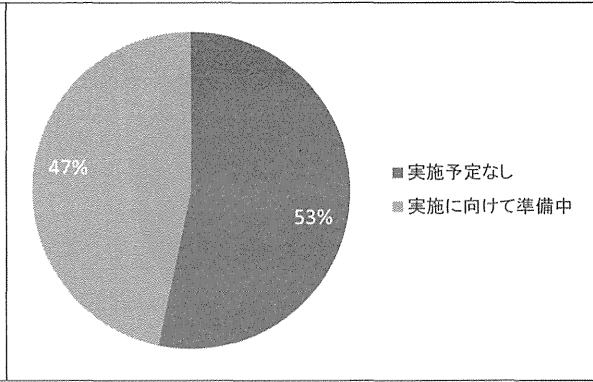


図36 今後の予定

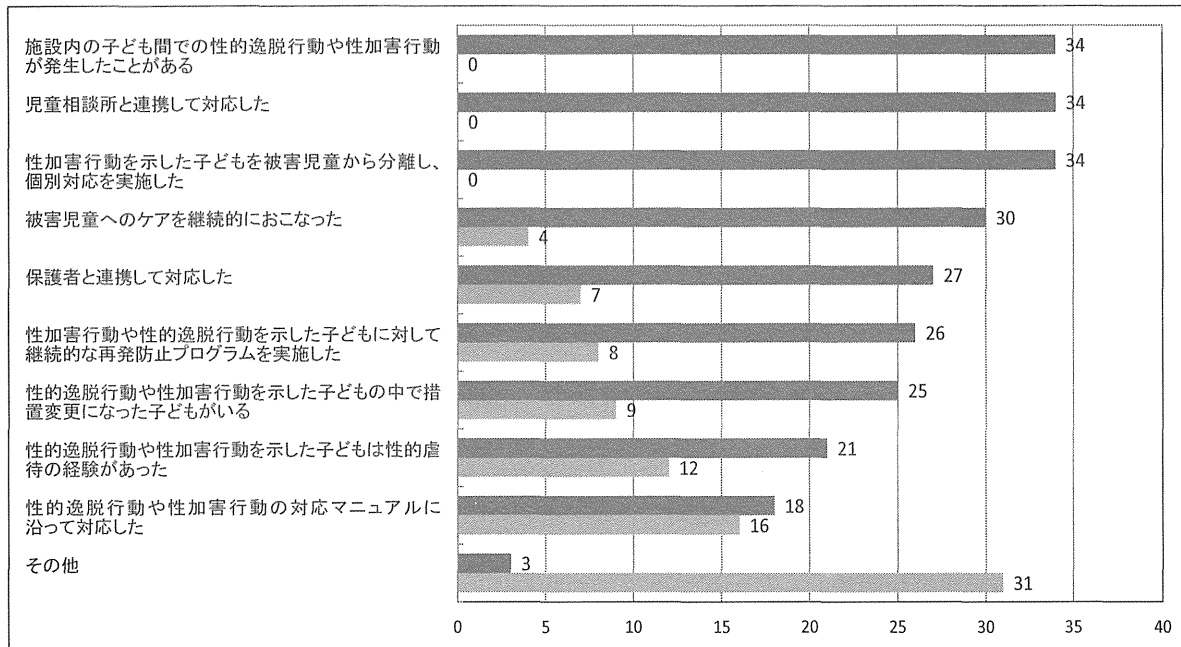


図37 性的逸脱行動や性加害行動の予防、発生時の対応

(4) 性的虐待を受けた子どもの治療

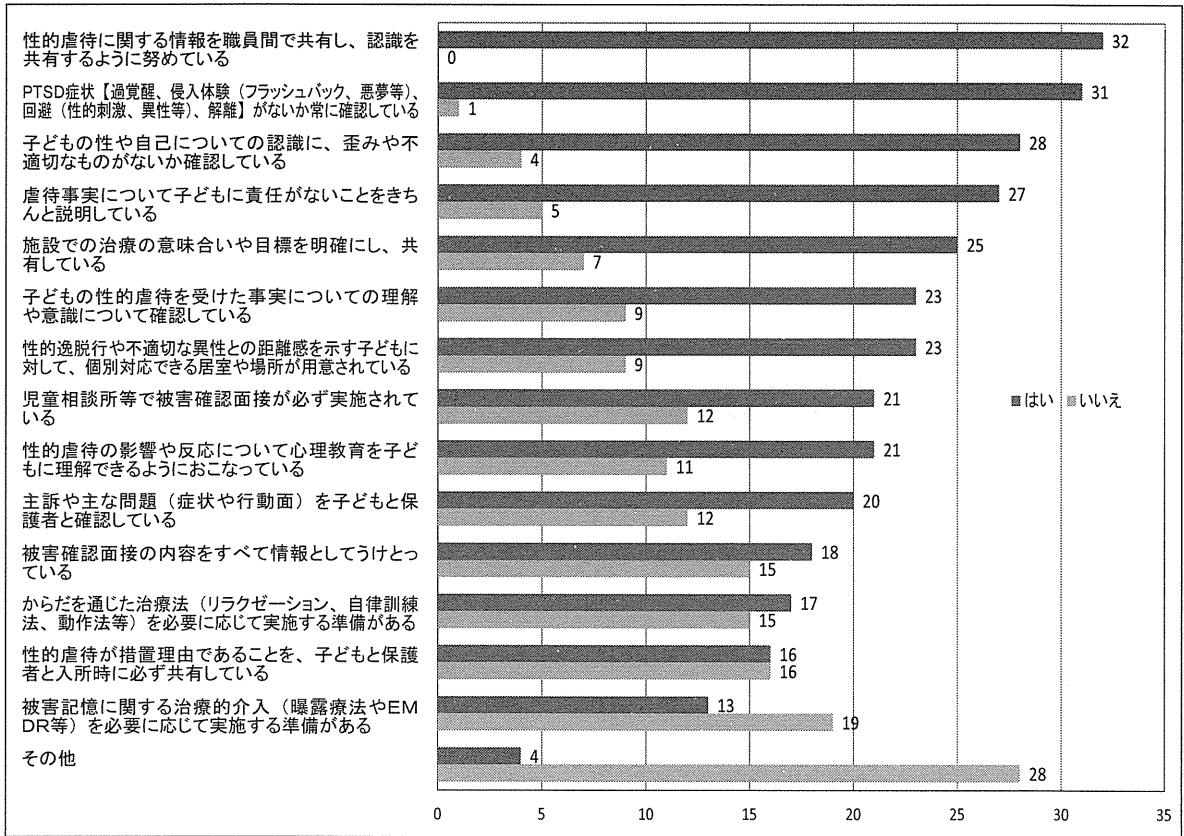


図38 性的虐待を受けた子どもの治療

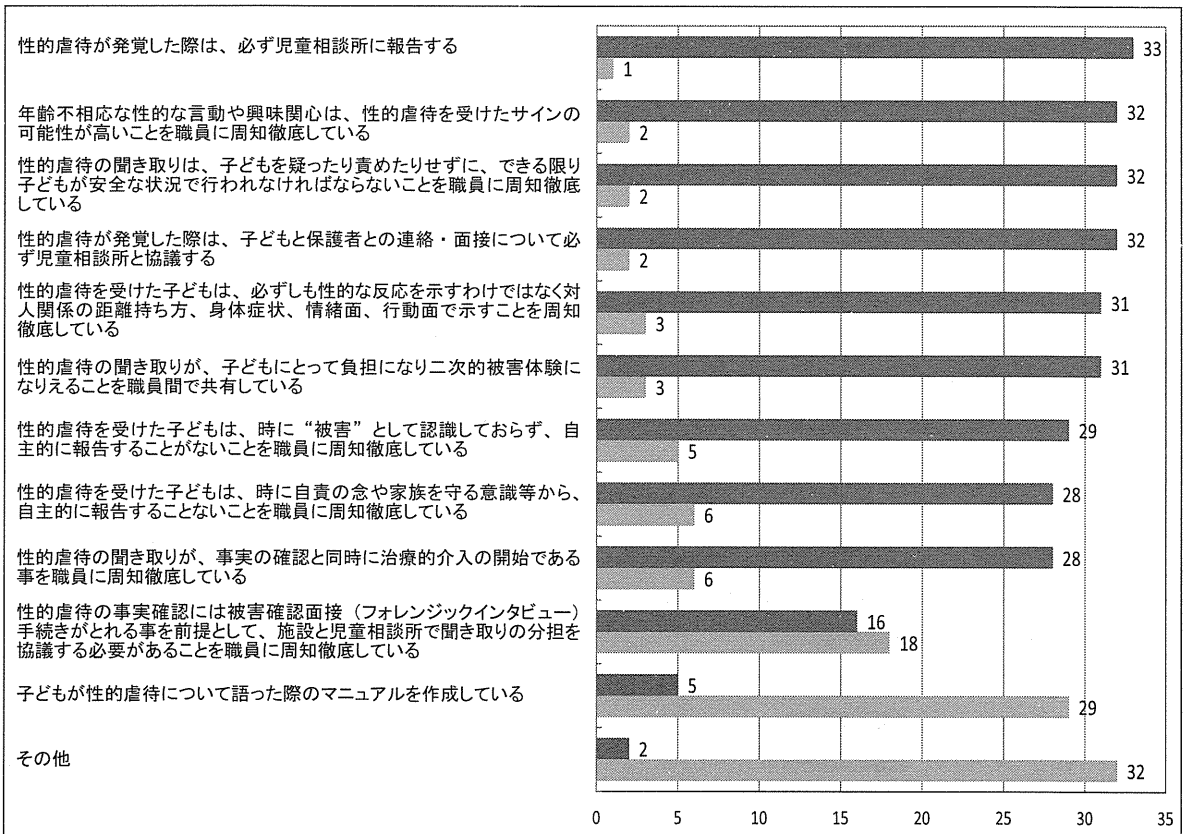


図39 入所後に性的虐待が発覚した場合

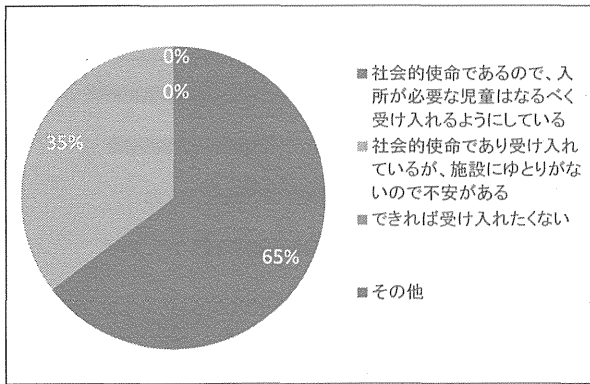


図40 被性的虐待児童の施設入所に関してのスタンス

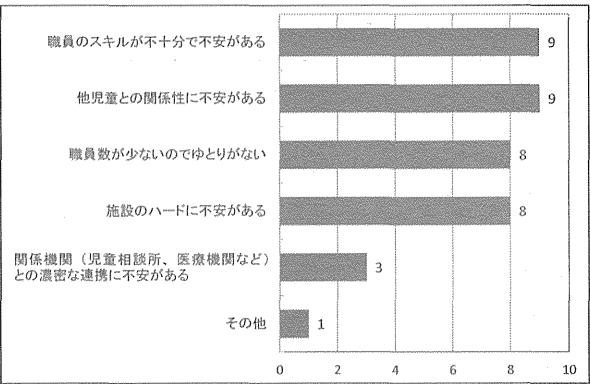


図41 受け入れに不安がある理由

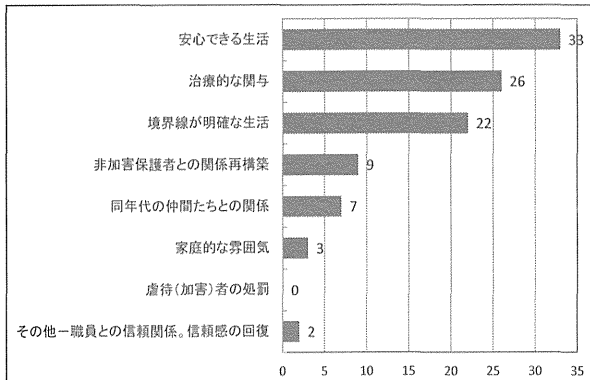


図42 被性的虐待児童への支援で特に重要なこと

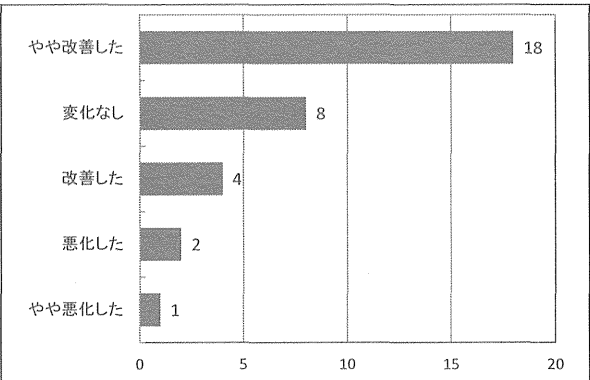


図43 入所支援による変化

(5) 家族との関係の回復や関係機関との連携

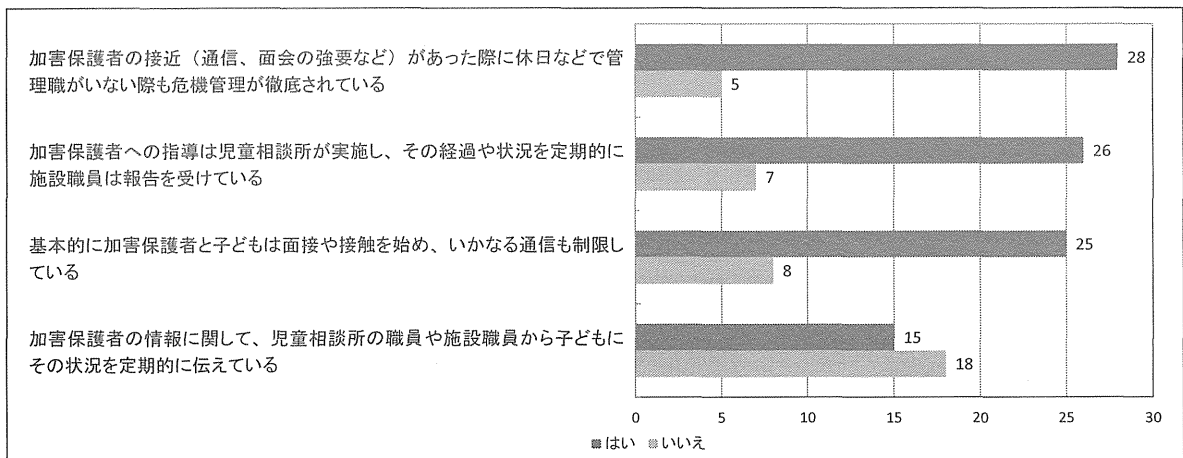


図44 加害者が保護者の場合

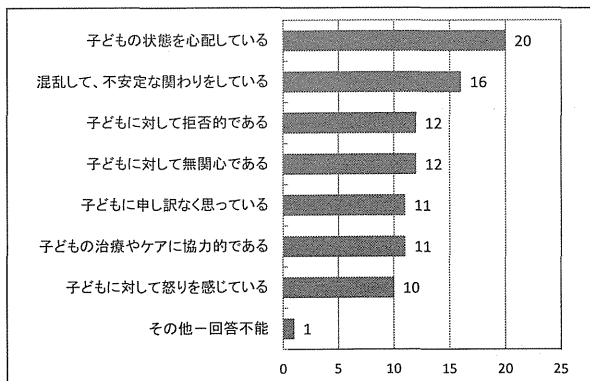


図45 非加害保護者の子どもへの態度

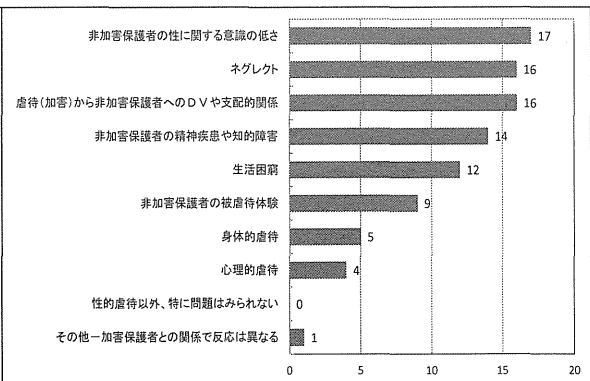


図46 虐待の背景

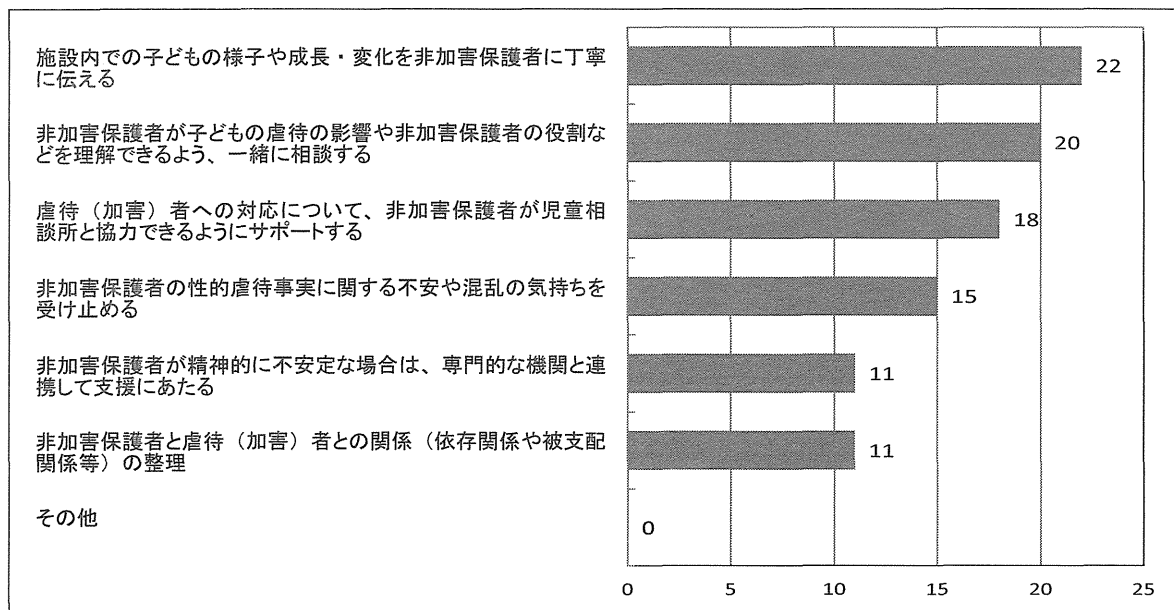


図47 非加害保護者と子どもの関係の改善に関して、施設からの支援として重要と考えられること

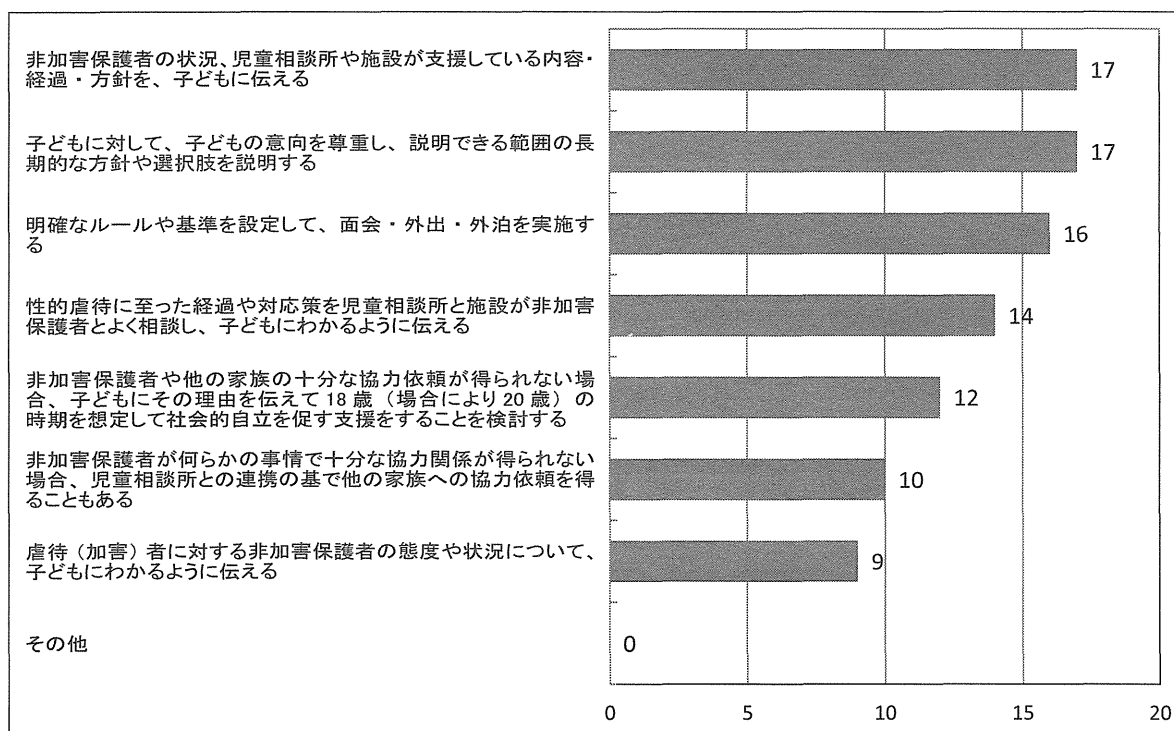


図48 子どもが非加害保護者と関係を持つにあたって重要と考えられること

Ⅲ 研究成果の刊行に関する一覧

書 籍

- 1 山本恒雄「「子ども虐待対応の手引き」平成25年8月改正について」『子ども虐待対応の手引き 平成25年8月厚生労働省の改正通知』日本子ども家庭総合研究所編 2014 有斐閣 p349-381.
- 2 山本恒雄・仲真紀子監訳 リンデル佐藤良子訳「知的障害・発達障害のある子どもの面接ハンドブック 犯罪・虐待被害が疑われる子どもから話を聴く技術」明石書店 2014.

雑 誌

- 1 山本恒雄「介入的ソーシャルワークと司法関与」『子どもの虐待とネグレクト』, 2014, Vol.16 No.3, p256-262.
- 2 山本恒雄「虐待対応から始まる育児支援の充実」「VI. 子どもと家族の福祉」日本子ども家庭総合研究所編『日本子ども資料年鑑2014』東京:KTC中央出版, 2014, p26-27, p189-228.
- 3 山本恒雄他「東日本大震災・避難児童に対する支援の総合的研究(主任研究者 山本恒雄)」日本子ども家庭総合研究所紀要第50集, 2014, p3-34.
- 4 山本恒雄他「児童相談所における保護者支援のあり方に関する実証的研究(主任研究者 山本恒雄)」日本子ども家庭総合研究所紀要第50集, 2014, p35-58.
- 5 山本恒雄・和田一郎他「一時保護所の概要把握と入所児童の実態調査(主任研究者 和田一郎)」日本子ども家庭総合研究所紀要第50集, 2014, p59-131.
- 6 山本恒雄・林浩康他「児童相談所における里親認定に関する調査研究(主任研究者 林浩康)」日本子ども家庭総合研究所紀要第50集, 2014, p133-161.

その他

- 1 山本恒雄・大久保牧子・永野咲・阪東美智子「DV被害母子のケア・アフターフォロー及び児童福祉との連携の課題」(厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業)『女性・母子の保護支援における婦人相談所の機能評価に関する研究(研究代表者 森川美絵)』平成25年度総括・分担研究報告書, 2014, p121-134.
- 2 山本恒雄・大久保牧子「東日本大震災による被災孤児・遺児と親族里親支援に関する研究」(厚生労働科学研究費補助金地域医療基盤開発推進研究事業)『被災後の子どものこころの支援に関する研究(研究代表者 五十嵐隆)』平成25年度分担研究報告書, 2014, p211-218.
- 3 岡本正子, 『「子ども虐待防止の実践力」を育成する教員養成のあり方』, 2011年~2013年科学研究報告書, 2014, p1-33,48-55,67,73-80,372-383,384-390.
- 4 八木修司他「不登校、引きこもりを考えるー関係機関との連携を通して」学齢期からの引きこもり予防モデル事業報告書, 2014, p37~38.

学会発表

- 1 山本恒雄「日本における体罰の実態について」第20回ISPCAN世界大会・第20回JaSPCAN学術集会 子ども虐待防止世界会議 体罰防止シンポジウム, 名古屋, 2014.
- 2 八木修司「性的虐待を受けた子ども・性的逸脱行動を示す子どもへの支援ー子どもの性の健全育成のための施設ケアー」第20回日本子ども虐待防止学会学術集会 名古屋大会シンポジウム, 名古屋, 2014.

